

あ

い

ち

の



名古屋コーチンぐるめフェスIN米2025

く



新たに開発したデュロック種の系統豚アイリスD2



知事の名刺を使って県産豚肉「愛とん」をPR

さ



いいともあいちフェアでみかわ牛をPR

ん



第16回全日本ホルスタイン共進会(北海道)

'26



高橋養鶏賞50周年記念式典

～おいしく体験！ 安全・安心 あいちの畜産～

◆ 県畜産関係機関 ◆

2 3 4 5 6 7

家畜保健衛生所

家畜の伝染病の検査を行い、病気の発生防止と畜産農家の衛生対策を指導しています。



8

畜産総合センター本場

能力の高い乳用牛、肉用牛、豚を増殖育成し、優良種畜を農家に譲渡しています。

また、牛受精卵移植等の人工妊娠技術の活用・普及、ハム・ソーセージ作りの研修も実施しています。



10 11

段戸山牧場、茶臼山高原牧場

広大な草地の中で乳用雌子牛を集団育成し、足腰の強い優良な乳用後継牛として農家に譲渡しています。



13

農業総合試験場畜産研究部

牛、豚、家きん及び家畜ふん尿処理の試験研究を行っています。品質の優れた系統豚「アイリス」の造成、「名古屋コーチン」の育種、効率的な飼料給与、畜産環境の改善、牛乳、肉、卵の品質向上などの研究に取り組んでいます。



肉牛舎(左)、乳牛舎(右)

9

三河高原牧場

放牧を活用して肉用牛(黒毛和種)を増殖育成し、農家に譲渡するとともに、県民に家畜とのふれあいの場を提供しています。



12

種鶏場

肉用、卵用の名古屋コーチンを増殖し、種鶏のひなや種卵を県内の民間ふ化場へ譲渡しています。



21

名古屋競馬場

馬券の売上げの一部を畜産振興に役立てています。



家きん舎(左)、豚舎(右)

愛知県の畜産関係機関



市町村別家畜飼養頭羽数 (トップ10) (令和7年)

出典：畜産課調べ

* 順位は飼養頭羽数(ラウンド)による。
 * 戸数、頭数等は令和7年2月1日現在。
 * 同一市町村の複数畜場を1戸とし、別市町村の同一経営畜場は各市町村に1戸とした。
 * 単位は、戸、頭、羽

● 乳用牛

順位	市町村	戸数	飼養頭数	1戸当飼養頭数	県内割合
1	田原市	36	4,542	126.2	25.3%
2	半田市	19	3,483	183.3	19.4%
3	豊橋市	36	2,543	70.6	14.2%
4	豊田市	10	1,188	118.8	6.8%
5	西尾市	12	1,020	85.0	5.7%
6	武豊町	4	776	194.0	4.3%
7	阿久比町	6	598	99.7	3.3%
8	豊川市	6	582	97.0	3.2%
9	新城市	4	415	103.8	2.3%
10	東浦町	7	336	48.0	1.9%

● 肉用牛

順位	市町村	戸数	飼養頭数	1戸当飼養頭数	県内割合
1	田原市	62	11,982	192.9	28.9%
2	半田市	21	6,886	327.9	16.8%
3	豊橋市	60	6,740	112.3	16.3%
4	新城市	32	3,078	96.2	7.4%
5	東浦町	11	1,910	173.6	4.6%
6	武豊町	8	1,747	218.4	4.2%
7	豊田市	24	1,514	63.1	3.7%
8	大府市	7	1,049	149.9	2.5%
9	阿久比町	10	968	96.8	2.3%
10	美浜町	7	734	104.9	1.8%

● 豚

順位	市町村	戸数	飼養頭数	1戸当飼養頭数	県内割合
1	田原市	41	97,560	2,379.5	31.2%
2	豊橋市	39	70,562	1,809.3	22.6%
3	西尾市	16	26,787	1,674.2	8.6%
4	美浜町	9	21,933	2,437.0	7.0%
5	常滑市	6	20,985	3,497.5	6.7%
6	豊川市	12	12,465	1,038.8	4.0%
7	南知多町	4	10,200	2,550.0	3.3%
8	瀬戸市	7	9,972	1,424.6	3.2%
9	碧南市	6	6,709	1,118.2	2.1%
10	豊田市	13	5,979	459.9	1.9%

● 採卵鶏

順位	市町村	戸数	飼養頭羽数	1戸当飼養羽数	県内割合
1	新城市	22	970	44.1	13.8%
2	田原市	24	914	38.1	12.9%
3	豊橋市	29	860	29.6	12.2%
4	岡崎市	23	735	31.9	10.4%
5	常滑市	15	693	46.2	9.8%
6	美浜町	7	678	96.8	9.6%
7	武豊町	6	455	75.8	6.4%
8	西尾市	12	365	30.4	5.2%
9	一宮市	8	306	38.2	4.3%
10	豊田市	33	222	6.7	3.2%

ふれあいの場の提供

畜産への理解を深めるために、家畜の飼育現場や畜産物加工施設での見学・体験の機会を提供しています。



未利用資源の有効活用

地域で発生する食品製造副産物などを、家畜の飼料として利用することで、飼料自給率を向上させ、未利用資源の有効活用を推進しています。



未利用資源の給与試験

家畜疾病の監視

家畜保健衛生所では、豚熱、鳥インフルエンザ及びBSE等の疾病の監視、各種疾病の検査を実施し、家畜伝染病の発生予防や農場での飼養衛生管理を指導するとともに、発生に備えた防疫対応の向上に努めています。



中和抗体検査(豚熱)



ウイルス分離検査(鳥インフルエンザ)



鳥インフルエンザ
検査のための採材



豚熱ワクチン接種

家畜排せつ物の適正管理と利用の促進

家畜排せつ物を適正に管理し利用を促進するため、堆肥散布車や処理施設の整備を進めるとともに研修会等を実施しています。



堆肥化処理の
現地研修



堆肥の散布

自給飼料の生産の推進

畜産経営の安定化を図るため、輸入飼料への依存から脱却し、自給飼料の生産を推進するほか、飼料用米、稲WCSなどの水田作物や青刈りトウモロコシを活用した耕畜連携の取組を推進しています。



青刈りトウモロコシの収穫

名古屋コーチン

農業総合試験場で育種、畜産総合センター種鶏場で改良増殖し、種ひなを県内のふ化場へ譲渡しています。名古屋コーチン及びその鶏卵肉に関する基準を定め、飼養者の公表も行なっています。



健全で優良な乳用牛・和牛の育成

段戸山牧場・茶臼山高原牧場では、県内酪農家の子牛を購入し、昼夜放牧を取り入れた集団育成を行なった後に県内酪農家へ譲渡しています。これにより、酪農家の労力軽減と、足腰の強い優良な子牛生産に寄与しています。

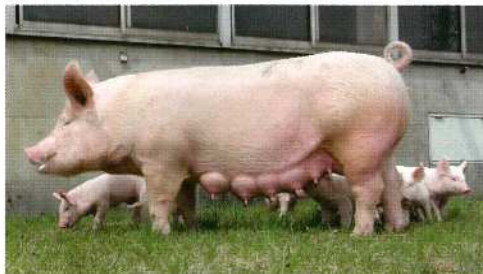
三河高原牧場では、高能力の和牛改良基礎雌牛を飼養し、生まれてくる繁殖用雌牛や採卵した受精卵を、県内和牛農家に譲渡することで、本県和牛改良の促進を図っています。



愛知の系統豚 (愛とん)

生産性に優れた3品種の系統豚を、農業総合試験場で開発、畜産総合センターで改良増殖しています。

この豚は、親豚として県内農家に広く利用され、おいしい豚肉が生産されています。



*2026年度中にアイリスナガラ(上)からアイリスD2(下)へ移行

スーパーカウ受精卵から雌子牛

畜産総合センターではアメリカ・カナダから輸入したスーパーカウ受精卵により雌牛を生産し、改良の基礎となる供卵牛として活用する取組を進めています。採取した受精卵は農家の牛群改良のために利用されます。



金シャチけいばNAGOYA

名古屋競馬場は、快適に競馬を観戦できる空間を提供しております。特に、観覧スタンドからコースまでの距離が近いため、1階観客席で迫力あるレースを楽しむことができます。



あいちの畜産の概要

1 概況

愛知県は、自動車産業に代表される工業県ですが、農業産出額も全国第8位の農業県でもあります。

また、畜産の農業産出額は農業全体の約28%を占め、全国第11位と有数の畜産県です。

愛知県の畜産が発展したのは、

- ①名古屋市を始めとする大消費地を控えている。
- ②古くから穀物を利用した醸造業や食品産業が盛んで、これらから排出される食品副産物を飼料として有効利用できる環境にある。
- ③名古屋港や三河港という良港に恵まれ、多くの配合飼料工場が立地し、流通飼料が比較的好条件で入手できる。などの要因が上げられます。

令和6年次農業産出額

区 分	農業産出額 億円(%)
米・麦・雑穀・豆類・いも類	443 (12)
花き	531 (15)
野菜・果実	1,535 (43)
畜産	985 (28)
その他	57 (2)
計	3,551 (100)

畜産の内訳	農業産出額 億円(%)
乳用牛	196 (20)
肉用牛	131 (13)
豚	287 (29)
鶏	335 (34)
その他	36 (4)
計	985 (100)

出典：農林水産省「生産農業所得統計」

2 乳用牛

飼養戸数186戸、飼養頭数17,800頭と減少傾向が続いていますが、飼養頭数は全国第8位で、1戸当たりの飼養頭数も95.7頭（全国平均114.4頭）と、全国第8位の規模となっています。

地域別の飼養頭数は、知多半島を含む尾張地域37.7%、西三河地域16.9%、東三河地域45.4%となっています。また、知多及び渥美半島(豊橋市含む)で、県内の76.4%を占めており、両半島が本県の主産地を形成しています。

昭和54年から実施された生乳の計画生産において、酪農経営の体質強化を図るため、知多半島で開始された肉肉複合経営が、現在では県内で広く行われるようになっており、本県の特徴の一つとなっています。

●乳用牛飼養の動向

単位：戸、頭、t

年次	戸数	頭数	経産牛頭数(2才以上)	1戸当飼養頭数	生乳生産量
昭和50年	2,060	53,200	36,200	25.8	165,808
59年	1,430	57,500	40,800	40.2	218,515
平成6年	920	49,300	35,500	53.6	273,262
16年	601	40,500	31,600	67.4	250,249
26年	373	28,600	22,700	76.7	188,435
31年	294	23,000	18,100	78.2	160,406
令和4年	247	21,100	17,400	85.4	148,158
5年	220	19,600	16,000	89.1	137,435
6年	199	18,500	15,300	93.0	132,282
7年	186	17,800	14,700	95.7	-

出典：農林水産省「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」

3 肉用牛

飼養戸数306戸、飼養頭数40,900頭と減少傾向となりましたが、飼養頭数は全国第18位で、1戸当たりの飼養頭数は133.7頭で全国第10位となっています。

地域別の飼養頭数は、知多半島を含む尾張地域37.1%、西三河地域7.5%、東三河地域55.4%となっており、東三河地域を中心に飼育されています。

飼養頭数に占める乳用種頭数(27,600頭)の割合は、67.5%で全国平均(28.7%)を大幅に上回っており、乳用種を飼養している戸数も210戸と68.6%を占めています。

また、乳用種飼養頭数に占める交雑種(乳牛の雌に和牛を交配して生産された牛)の飼養割合は92.0%で、全国平均(75.2%)を大きく上回っています。

●肉用牛飼養の動向

単位：戸、頭

年次	戸数	頭数	内乳用種頭数	1戸当飼養頭数
昭和50年	1,900	28,800	22,000	15.2
59年	1,270	53,800	46,600	42.4
平成6年	870	64,300	48,100	73.9
16年	559	58,500	47,900	104.7
26年	395	46,700	36,000	118.2
31年	313	40,700	29,100	130.0
令和4年	340	42,400	29,700	124.7
5年	323	42,400	29,300	131.3
6年	314	42,300	28,600	134.7
7年	306	40,900	27,600	133.7

出典：農林水産省「畜産統計」

4 豚

飼養戸数は198戸と横ばいでしたが、飼養頭数は287,400頭と減少し、飼養戸数は全国第8位、飼養頭数は全国第12位となっています。1戸当たりの飼養頭数も減少し、2,083頭（全国平均2,811頭）となっています。一方、子取り用雌豚の飼養頭数についても、25,600頭と減少しています。

地域別の飼養頭数は、知多半島を含む尾張地域24.8%、西三河地域15.9%、東三河地域59.3%となっており、東三河地域を中心に飼育されています。

飼料価格の高騰、都市化の進展、後継者不足などの課題は続いています。飼養環境の改善、経営の効率化等が進められています。

●豚飼養の動向

単位：戸、頭

年次	戸数	頭数	内子取雌頭数	1戸当飼養頭数
昭和50年	5,300	296,000	34,500	55.9
59年	1,750	409,500	44,900	234.0
平成6年	590	451,700	41,400	765.6
16年	322	378,900	36,700	1,176.7
26年	219	349,900	32,000	1,597.7
31年	197	342,000	34,200	1,740.4
令和3年	140	291,900	25,600	2,085.0
4年	142	305,500	28,500	2,151.4
5年	138	308,700	25,700	2,237.0
6年	138	287,400	25,600	2,082.6

出典：農林水産省「畜産統計」

5 鶏・うすら

採卵鶏の飼養戸数は109戸、飼養羽数(成鶏めす)は6,618千羽と増加しました。飼養戸数は全国第1位、飼養羽数は全国第5位となっています。1戸当たりの平均飼養羽数は、前年より増加し、60.7千羽(全国平均79.1千羽)となっています。

地域別の飼養羽数は、知多半島を含む尾張地域39.0%、西三河地域19.6%、東三河地域41.4%となっています。

全国に比べ中小規模経営が多い本県は、飼料価格の高騰、都市化の進展及び後継者不足等の課題が続いているものの、飼養戸数は、依然として全国1位を維持しています。

ブロイラーの令和5年次出荷羽数は5,431千羽で全国第21位です。

特産のうすらについては、豊橋市を中心とした東三河地区で県内の92.7%が飼育されており、令和6年次の産出額は33億円で全国の62.3%を占め、日本一の生産地となっています。

●採卵鶏飼養の動向

単位：戸、千羽、t

年次	採卵鶏戸数	羽数	1戸当飼養羽数	鶏卵生産量
昭和50年	9,330	8,480	0.9	134,847
59年	2,140	8,350	3.9	140,026
平成6年	640	8,570	13.4	132,006
16年	309	7,871	25.5	129,084
26年	173	6,964	40.3	114,141
29年	149	6,611	44.4	107,038
31年	143	7,019	49.1	104,732
令和3年	124	7,224	58.3	103,490
4年	121	7,642	63.2	120,002
5年	108	6,346	58.8	116,241
6年	109	6,618	60.7	125,225

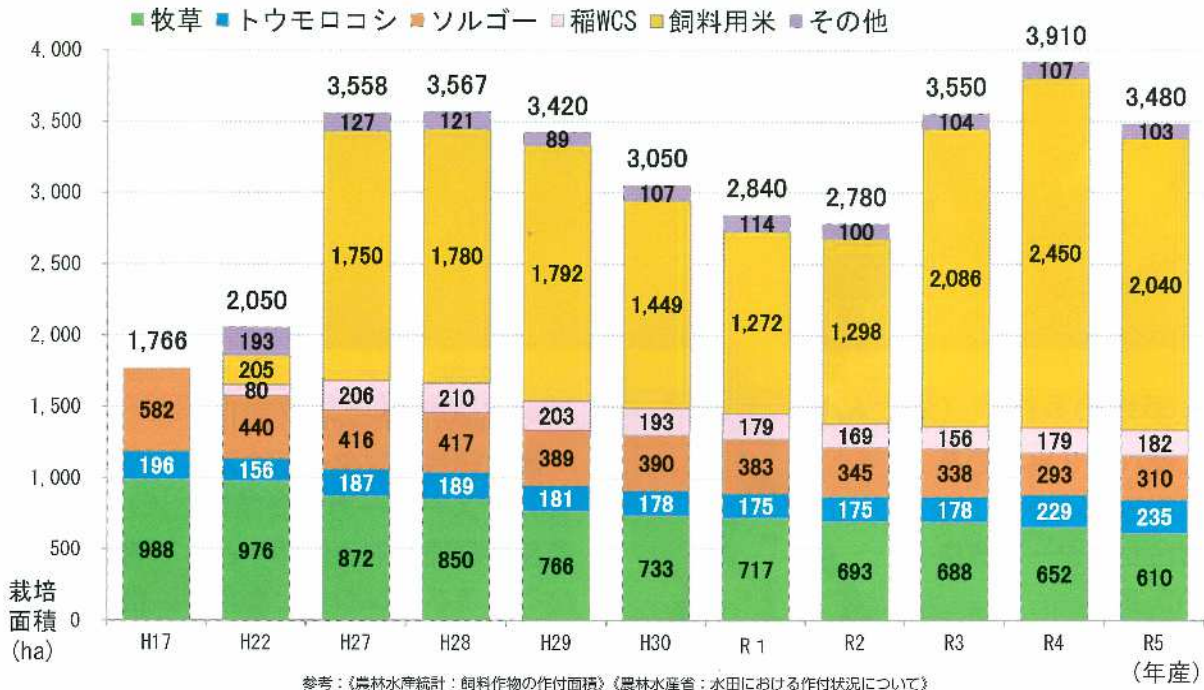
出典：農林水産省「畜産統計」

◆ 畜産関係県機関一覧 ◆

地図上の番号	機関名	所在地	電話ファックス	ホームページアドレス
1	農業水産局畜産課 家畜防疫対策室	名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 (〒460-8501)	(052)961-2111(代) FAX 954-6934	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chikusan/
2	西部家畜保健衛生所	知多郡武豊町字内飽1の2 (〒470-2324)	(0569)72-0344 FAX 72-2770	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/seibu-kachiku/
3	尾張支所	春日井市篠木町8の2673の5 (〒486-0851)	(0568)81-1874 FAX 82-8475	
4	中央家畜保健衛生所	岡崎市美合町字地藏野1の306 (〒444-0805)	(0564)51-5183 FAX 54-5129	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chuou-kachiku/
5	豊田加茂支所	豊田市栄生町3の25 (〒471-0067)	(0565)32-0459 FAX 35-0674	
6	東部家畜保健衛生所	豊橋市西幸町字古並51の1 (〒441-8113)	(0532)45-1141 FAX 48-8943	https://www.pref.aichi.jp/chikusan/toubu-kachiku/
7	新城設楽支所	新城市野田字上市場26の2 (〒441-1344)	(0536)22-0549 FAX 23-4952	
8	畜産総合センター	岡崎市丸山町字亀山9の1 (〒444-0006)	(0564)21-0201 FAX 22-1857	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chikusan-c/
9	三河高原牧場	豊田市東大林町半ノ木3の39 (〒444-3261)	(0565)90-3504 FAX 90-3524	
10	段戸山牧場	豊田市小田木町タカドヤ1の2 (〒441-2525)	(0565)82-2252 FAX 82-2519	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chikusan-c/0000034625.html
11	茶臼山高原牧場	北設楽郡豊根村坂宇場字御所平70の178 (〒449-0405)	(0536)87-2004 FAX 87-2004	
12	種鶏場	小牧市大字大草字年上坂5818-1 (〒485-0802)	(0568)39-6206 FAX 39-6207	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chikusan-c/0000011257.html
13	農業総合試験場	長久手市岩作三ヶ峯1の1 (〒480-1193)	(0561)62-0085 FAX 63-0815	https://www.pref.aichi.jp/nososi/
14	尾張農林水産事務所	名古屋市中区三の丸二丁目6番1号 三の丸庁舎 (〒460-0001)	(052)961-7211 FAX 961-8027	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/owari-nourin/
15	海部農林水産事務所	津島市西柳原町1の14 (〒496-8532)	(0567)24-2111 FAX 26-6362	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ama-nourin/
16	知多農林水産事務所	半田市出口町1の36 (〒475-0903)	(0569)21-8111 FAX 22-9982	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chita-nourin/
17	西三河農林水産事務所	岡崎市明大寺本町1の4 (〒444-0860)	(0564)23-1211 FAX 23-4632	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nishimikawa-nourin/
18	豊田加茂農林水産事務所	豊田市元城町4の45 (〒471-8566)	(0565)32-7361 FAX 32-4720	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toyotakamo-nourin/
19	新城設楽農林水産事務所	北設楽郡設楽町田口字小貝津6の2 (〒441-2301)	(0536)62-0545 FAX 62-1692	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinshiroshitara-nourin/
20	東三河農林水産事務所	豊橋市八町通五丁目4 (〒440-0806)	(0532)54-5111 FAX 54-7258	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/higashimikawa-nourin/
21	愛知県競馬組合	弥富市駒野町1番地 (〒498-0065)	(0570)007-221 FAX (0567)69-8525	https://www.nagoyakeiba.com/

県内の飼料作物作付面積の推移

- 近年、米の消費量の減少と米価下落、未利用水田の問題から、水田転作作物として稲WCSや飼料用米の生産が拡大されてきた。
- 令和5年産以降の飼料作物作付面積は、主食用米単価の上昇等を背景に、稲WCSや飼料用米の作付面積が減少しているが、トウモロコシは増加傾向にある。



県内産畜産物の消費拡大

愛知県では、能力の高い種畜の開発や、県内で生産された畜産物のPRをしています。愛知のブランド「みかわ牛」、「愛とん」、「名古屋コーチン」を始めうずらや牛乳など地元の畜産物を食べましょう。



大阪・関西万博でみかわ牛の試食とすき焼き弁当の販売



畜産フェスタで愛知のブランド肉を試食提供



名古屋コーチンの日を記念したプレゼント企画

畜産課ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chikusan/> に畜産関係の詳細な統計資料等を掲載しておりますので、是非ご活用ください。

